

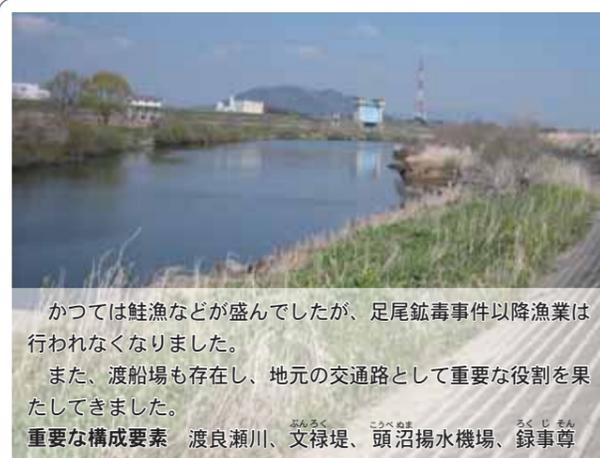
# 文化的景観って何だろう



昭和50年代初めまでは板倉沼、亥之子沼、御手洗沼が存在し、沼に囲まれていました。雷電神社社は群馬県の指定重要文化財、末社は国の指定重要文化財に指定されています。

重要な構成要素 雷電神社、境内地内、雷電神社参道、道標

雷電神社周辺地区



かつては鮭漁などが盛んでしたが、足尾鉍毒事件以降漁業は行われなくなりました。

また、渡船場も存在し、地元の交通路として重要な役割を果たしてきました。

重要な構成要素 渡良瀬川、文禄堤、頭沼揚水機場、録事尊

渡良瀬川地区



河川敷には植物群落が形成されており、多くの動植物が生息しています。今も貴重な柳山、川田などがあり、堤の内外には多くの池沼が見られます。

重要な構成要素 谷田川、蛭田沼、肘曲池、柳山、ヨシ原など

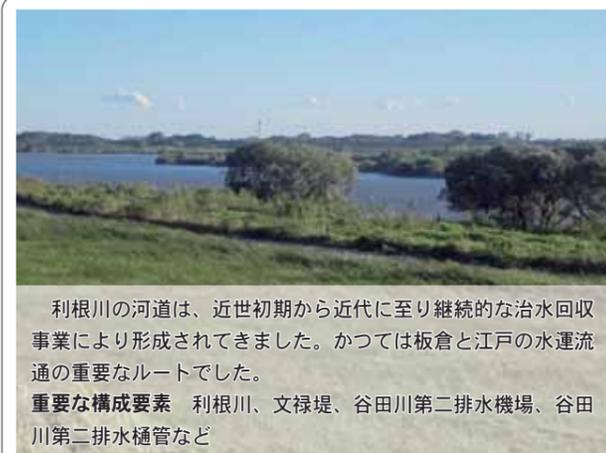
谷田川地区



国内最大級のヨシ原があり、毎年ヨシ焼きが行われています。板倉町の治水に重要な排水機場が接続されています。

重要な構成要素 渡良瀬遊水地、堤防、海老瀬排水樋管、邑楽東部第一排水機場など

渡良瀬遊水地地区



利根川の河道は、近世初期から近代に至り継続的な治水回収事業により形成されてきました。かつては板倉と江戸の水運流通の重要なルートでした。

重要な構成要素 利根川、文禄堤、谷田川第二排水機場、谷田川第二排水樋管など

利根川地区



古来からの国境で、今も県境となっている河川跡です。現在は水路や堤などが残存し、河川景観を継承しています。周囲には水田風景が広がっています。

重要な構成要素 古利根川、堤防、天保の締め切り跡、小左工門樋門、水塚、水天宮

古利根地区



板倉町の重要文化的景観選定と保存対象範囲

## 文化的景観とは

日本の多様な気候風土の中で、人々は地域の自然と関わりながら生計を立て、生活を営み、長い年月をかけてその土地ならではの特徴的な景観を築きあげてきました。

このように人々の生活や風土に深く結びつき、人の営みとともに作ってきた地域特有の景観のことを「文化的景観」といいます。文化財保護法では、こうした景観を受け継ぐ土地を文化財の一つに位置づけており、その中でも重要な景観地は「重要文化的景観」として選定されます。平成23年9月21日、板倉町の景観が「利根川・渡良瀬川合流域の水場景観」として国の選定を受けました。このような歴史と風土に根ざした暮らしの景観は、日本の文化を理解する上でとても大切ですが、身近であるがゆえに、そのよさが気づかれにくく、失われつつある現在、地域で守っていかなくてはなりません。

## 受け継いできた文化的景観を守りましょう

※保存対象範囲内において建物や土地などの現状変更を行う際は、現状変更届が必要ですので、下記担当窓口にご連絡ください。

問合せ 生涯学習係（中央公民館） ☎ 82-2435